

第 3 回新潟県食肉センター再編検討委員会  
令和 7 年 9 月 1 8 日（木） 新潟県自治会館 2 0 1 会議室

## 第2回新潟県食肉センター再編検討委員会の概要

新潟県農林水産部食品・流通課

# 第2回新潟県食肉センター再編検討委員会の概要

## ○ 開催概要

日時：令和7年6月6日（木） 午後2時～3時35分

会場：新潟県自治会館 講堂

出席者：委員20名中、19名出席（うち2名代理）

## ○ 結論

県が中心となって、より具体的な運営主体の枠組みの案をまとめる。

## ○ 議事概要

概要	内容
運営主体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 将来的には民設民営が望ましいが、立ち上げは土地取得、許認可等の問題があり、最初は県が主体となって立ち上げを行うべき。</li><li>・ 民設民営であっても、1社、数社で負担をすることは非常に困難。</li><li>・ 県、市町村、利用者で出資した株式会社を作るべき。</li><li>・ 牛と豚に分けてそれぞれ会社を作り、その上に調整する会社を作るべき。</li><li>・ 民設民営であっても、県や市町村は、畜産行政の立場から補助的に運営参加すべき。</li></ul>

# 第2回新潟県食肉センター再編検討委員会の概要

## ○ 議事概要（つづき）

概要	内容
収支	<ul style="list-style-type: none"><li>と畜のみの食肉センターでは黒字にならない。光熱費の高騰や修繕費も多額の費用がかかる。</li><li>試算を見ると牛と豚では収益に大きな差があり、民営化の際に不具合が生じるのではないか。</li></ul>
設置場所	<ul style="list-style-type: none"><li>飼養地からの距離や交通利便性が重要なほか、従業員が通いやすいことも大事。</li><li>運営コストの観点から、地下水か工業用水が利用できる場所を選ぶべき。</li></ul>
輸出対応	<ul style="list-style-type: none"><li>輸出して稼げる食肉センターにすべき。</li><li>輸出対応の方が補助金が出やすく、他県でも黒字施設があると聞いている。</li></ul>
利用料	<ul style="list-style-type: none"><li>牛は赤字、豚は黒字なのだから、豚の利用料を値下げすることで、豚の生産者に還元するなど、利用料は生産者と協議すべき。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>生産者に配慮して仕様等考えていただきたい。</li></ul>